

令和6年度 第1回技術部会

C3部会 8月4日(日) 全国高等学校体育連盟体操専門部

==== 審議事項 =====

1. 令和7年度 高校適用規則(競技規則、採点規則)の確認
2. 令和7年度 全国高校総体山口大会実施要項について
3. 令和6年度 全国高校選抜香川大会実施要項について
4. 令和7年度 全国高校選抜福井大会実施要項について
5. その他
 - (1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

==== 審議結果 =====

1. 令和6年度 競技規則・採点規則の全国高校適用について

(1) 令和6年度以降大会の個人競技手具の確認

	全国高校総体			全国高校選抜				国民スポーツ大会					
	個人手具		開催地	個人手具				開催地	個人手具				開催地
令和6(2024)年度	Ri	Ro	福岡	St	Ri	Ro	Cl	香川	St	Ri	Ro	Cl	佐賀
令和7(2025)年度	Ro	Cl	山口	St	Ri	Ro	Cl	福井	St	Ri	Ro	Cl	滋賀
令和8(2026)年度	Cl	St	兵庫	St	Ri	Ro	Cl		St	Ri	Ro	Cl	青森
令和9(2027)年度	St	Ri	千葉	St	Ri	Ro	Cl		St	Ri	Ro	Cl	宮崎

手具表記: St(スティック)、Ri(リング)、Ro(ロープ)、Cl(クラブ)

(2) 高校適用規則(競技規則、採点規則)について

ア 炭酸マグネシウム(粉状)の使用について

- ・ 各ブロック大会等において使用状況等
- ・ 日本体操協会主催大会については、2024年度から使用不可。
- ・ 日本体操協会主催大会に準じて、使用不可に変更する方向で進めたい。

イ 新競技規則の採用について(導入時期)

- ・ 令和6年度香川選抜から採用する。
- ・ 高体連適用規則について新ルール公開後、検討していく。

2. 令和7年度 全国高校総体(体操競技:島根 新体操:山口)大会実施要項について

ア 開催より大会概要の説明

→ 本会場のアップレーンについて、1/3サイズを2つ作成するよりは体育館の広さの問題がクリアできるのであれば2/3サイズにするとよい。体育館の広さ上、難しければ1/3サイズ1つでよい。

3. 令和6年度 全国高校選抜(体操競技:高知 新体操:香川)大会実施要項について

- ・ 特になし

4. 令和7年度 全国高校選抜(体操競技:長野 新体操:福井)大会実施要項について

ア 開催より大会概要の説明

→ 県外審判員派遣負担金について訂正(正選手1名につき2,000円→2,500円)
→ 男子セノー製品 ベージュ → ホワイト に訂正

5. 令和8年度 全国高校選抜(体操競技:兵庫 新体操:兵庫)大会の選考方法について

- ・ 8月4日(火)~7日(金)を予定。
- ・ 埼玉選抜と同じようなレイアウトを検討中。

6. その他

(1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

ア 協会主催大会の監督のコーチ資格保有について（協会への要望）【専門部確認後通知】

体操協会主催大会が今年度から監督の条件にコーチ3資格保有している必須となったが、高校現場を鑑みて、一部免除などの配慮を検討してもらいたい。

(配慮される条件の案)

「当該年度及び当該年度の前年度に人事異動や新採用により新しく監督（顧問）となった場合、かつ、その監督（顧問）がコーチ3を取得する意思（受講中であること）がある場合は、資格保有を免除する。」

(理由)

コーチ3資格取得まで1年半を要するが、異動等でコーチ資格を有しない教員が顧問となった場合、協会主催の大会に出場できなくなるということは、選手にとって大きな不利益につながる。コーチ資格を有する部活動指導員等を配することが難しい等の各校の実情も踏まえ、柔軟に対応してもらいたい。さらに異動発令後は、コーチ資格取得申請期間を過ぎていることが想定され、翌年度から資格取得の講習が始まることとなる。

(2) 令和7年度全国高校総体（団体競技）補充枠の優先順位について【専門部承認】

※令和6年度は、補充なし

ブロック	出場枠	都道府県数	学校数	平均値	優先順位
北海道	1	1	3	3.00	1
東北	3	6	8	1.33	4
関東	4	8	7	0.88	7
北信越	3	5	6	1.20	6
東海	2	4	8	2.00	2
近畿	2	6	9	1.50	3
中国	2	5	4	0.80	8
四国	2	4	2	0.50	9
九州	4	8	10	1.25	5

(3) 高校総体の個人競技の演技順の進め方について、男子は2班をまたぐ形に変更したい。【専門部承認】

(理由) 1種目の演技終了後から2種目目の演技までが約15分後と体力の回復時間が非常に短い状況がある。近年の競技力の向上の状況を考えると選手の怪我防止の観点から変更が必要であると考える。

男子				女子			
班	組	演技順		班	組	演技順	
		種目1	種目2			種目1	種目2
1	1	2	16	1	1	1	8
	2	18	4		2	10	3
	3	6	20		3	5	12
					4	14	7
2	4	23	9	2	5	15	22
	5	11	25		6	24	17
	6	27	13		7	19	26
					8	28	21

※ 1種目終了後に30分のインターバル。

7 男子新体操委員会より（安福審判委員長）

- ・ 新ルールの方向性について説明（2024年12月に講習会予定）
- ・ 日本体操協会主催大会は令和7年度の全日本ユース大会から採用予定。